



学校だより

伸びゆく子

令和6年4月30日
横浜市立中沢小学校
5月号

相手のことを想う姿

学校長 川又美貴子

先日は、授業参観・懇談会、学校説明会にご参加いただきありがとうございました。子どもたちが、新しいクラスで緊張しながらも、一生懸命学ぼうとしている姿を見ていただけたのではないかと思います。学校説明会や懇談会では、保護者の皆様が子どもたちの学校での成長に熱心に関わってくださっていることが伝わってきました。中沢の子どもたちの健やかな成長は、こうした保護者の皆様の温かい思いに支えられているのだと改めて感じることができました。教職員一同、気を引き締めて取り組んでまいりたいと思います。

さて4月24日(水)、体育館で1年生を迎える会が行われました。雨予報だったため、急遽体育館での計画に変更して実施することになり、どんな風に行えるかな、と心配していたのですが、6年生の実行委員が中心となって熱心に進行してくれました。



1年生が入場した後、6年生代表の最初の言葉で会が始まりました。その中で6年生代表が「1年生、楽しみですか?」と、1年生に問いかけました。その語り口が、用意された原稿を読み上げるのではなく、1年生の方に一歩進み出て、優しく語りかけるもので、1年生も思わず、「うん。」「はい。」と返事をしてしまうような、とても自然な温かいやりとりでした。一気に体育館が温かく和やかな空気に包まれました。

実はこうした6年生の語りかける挨拶は、今年度に入って2回目です。1回目は入学式の時。やはり6年生代表が挨拶をしたのですが、その中で「僕と遊んでください。」と、1年生に語りかけました。でも、1年生の様子を見ると反応が少し薄いように感じて、1年生の方に歩み寄り、今度はもう少し元気よく、「僕と遊んでください。」と語りかけました。その姿を受けて、入学式を前に緊張していた1年生たちが「うん。」「いいよ。」と笑顔で返事をしていました。「読む」ではなく、「語りかける」その姿は、本当に1年生のことを思い、考え、伝えたいメッセージなんだということが、見ている誰にも伝わるものでした。

こうした「相手のことを想う姿」を6年生が様々な場面で見せてくれることで、中沢小全体がお互いのことを感じ、想い合う、温かい雰囲気です。まさに「ひびきあい」の姿です。こうした6年生の姿があったからこそ、先の1年生を迎える会の最後には、計画されていなかったにもかかわらず、みんなが退場曲「さんぽ(となりのトトロ)」を歌いながら送り出す、という温かい流れにつながったのだと思います。

これからも、こうした子どもたちが見せてくれる「相手のことを想う姿」を大切にしていきたいです。